

富谷高校だより 第51号



発行：宮城県富谷高等学校

平成27年 6月24日発行

〒981-3341 黒川郡富谷町成田2丁目1-1

TEL 022-351-5111 FAX 022-351-5112

完全燃焼！高校総体

6月6日（土）から8日（月）にかけて、第64回宮城県高等学校総合体育大会が、県内各地を会場に開催されました。本校からも、多くの運動部員が日頃の練習成果を発揮すべく参加しました。ここでは、そのおもな結果と部長の代表の声を紹介します。

<陸上部>

男子400mハードル第2位《東北大会出場》

3年・相澤一輝（成田中）

「東北大会を終えた今、正直言って悔いしか残っていません。県大会で怪我をしてしまい、思うような走りができなかったからです（第7位）。僕は中2からハードルを始めました。富谷高校を選んだのは、同じハードルに挑む先輩がいたからです。部活動は、僕の生きがいでした。今後は大学に進学し、さらにハードルを続けます。後輩の皆さんも、環境に負けずに頑張ってください。」



「僕にとって部活動は、『目標を作り努力すること』の練習でした。将来、人をまとめる時にきっと役立つと思い、励んできました。大会前に転んで捻挫してしまったことも、今では思い出となっています。1年生は、せっかく2年間も部活動をやるんだったらトップを狙って頑張れ！2年生は、落ち着くことも大事。大会前は焦りやすく、ケガにもつながるから。」

【陸上部 3年・岩佐健太（東向陽台中）】

<サッカー部>

県大会2回戦進出《ベスト16》

<ソフトボール部>

富谷・仙台高合同チーム

初戦敗退

<ソフトテニス部>

（男子）団体戦初戦敗退

相澤・伊東ペア3回戦進出

（女子）団体戦4回戦進出

《ベスト16》

籠嶋・新沼ペア4回戦進出

《ベスト32》



「僕は部活動から、好きなことに打ち込んで取り組むことの楽しさを教えてもらいました。部活は、もう一つの家でした。後輩たちよ、楽しくやろう。勝ちにこだわりすぎると楽しさを見失うこともあるから。でも、ON・OFFはしっかりと。そして、Catch The Dream!!」

【男子テニス部 3年・高橋優斗（七北田中）】

<テニス部>

(男子) 団体戦 2 回戦進出

(女子) 団体戦 2 回戦進出

ダブルス 桑原・成田ペア《ベスト 1 6》

シングルス 桑原《ベスト 1 6》



「私は部活動を通して仲間の大切さを実感し、テニスの楽しさを知りました。すべての試合が思い出となって残っています（打ち上げも）。後輩の皆さんは、みんなで仲良く支え合いながら、これからも頑張ってください。応援してます！」

【女子テニス部 3年・平賀 唯（成田中）】

<バレーボール部>

(男子) 初戦敗退

(女子) 4 回戦進出《ベスト 1 6》

<バスケットボール部>

(男子) 予選リーグ第 2 位

(女子) 2 回戦進出



「本気で打ちこめるもの、それが僕にとっての部活動であり、高校生活そのものだった。今までで一番本気になれたのがバスケだった。田沢湖遠征では全敗という屈辱を味わったが、総体では一つのチームとなって戦うことができた。後に続くみんなは多くのチームと戦い、そこからプレーだけでなく、多くのことを学んでほしい。」

【男子バスケットボール部 3年・山岸 憧生（向陽台中）】

「精神的苦痛もあったけど、仲間と励まし合ってメンタル強化できました。毎日の練習や公式戦はもちろん心に残ってますが、仲間と一緒に過ごした田沢湖遠征がいろいろ経験になり、勉強になりました。部活は、辛くとも最後までやりきることが大事です。楽しく、一日一日を大切に過ごしてください。」

【女子バスケットボール部 3年・高橋理奈（富谷第二中）】



「私にとって部活動は生活の中心であり、高校時代に一番頑張ったといえるもの。精神面を始め、多くの部分を成長させてくれたもの。この3年間の経験で身につけた粘り強さと礼儀は、社会に出てからも役立つと思う。最後の高総体は、一度は立ったベスト 8 に 15 人全員で挑んだ大会だった。負けただけ、集大成として満足する試合ができた。部活動は、途中で逃げ出したり辞めたりすることはそう難しくないことです。最後までやり切ろうとすれば、壁にぶつかったり苦しむ日々が続くこととなります。それでも、『続ける』ことに意味があります。後輩の皆さん、人数は少ないけど絶対みんなは強くなれると信じています。10人で全力で楽しんで、富高バレーをしてください。応援してます。」

【女子バレーボール部 3年・沼田彩花（向陽台中）】

<バドミントン部>

(男子) 学校対抗戦 3 回戦進出《ベスト 1 6》

(女子) 学校対抗戦 2 回戦進出《ベスト 3 2》

シングルス 佐藤 ベスト 3 2（国体予選出場）

中山 ベスト 3 2（国体予選出場）



「部活動は、確かに疲れます。しかし、何よりも楽しいものです。将来に向けて、考える力と忍耐力を鍛えることができました。今年の総体の団体戦は、全力を尽くしました。一生忘れないと思います。後輩の皆さん、考えて練習しましょう。そして、バドミントンを楽しんでください。」

【男子バドミントン部 3年・菅原 豊（日吉台中）】

「私にとって部活動は、目標を立てて頑張れることであり、部員の結束力を感じられるものでした。部活動を続けてきて、臨機応変に対応する力がつき、視野が広がった気がします。一番の思い出は、何ととっても総体の団体戦。それと、夏休みのバーベキュー（笑）。2年生は人数が少なく大変になると思うけど、協力して頑張ってください。学年関係なく、みんながライバルだと思って頑張ってください。」

【女子バドミントン部 3年・堀田優佳（七北田中）】

<卓球部>

男子団体3回戦進出《ベスト16》

<剣道部>

男女予選リーグ敗退

<弓道部>

（男子）団体準々決勝進出《ベスト16》

（女子）団体準々決勝進出《ベスト16》

<ハンドボール部>

（男子）初戦敗退 （女子）初戦敗退



「高校総体が終わってしまいました。私はこの経験を、一生忘れません。練習も試合も、すべてが最高の思い出です。後は後輩たちに託します。どうか、後悔だけはしないように、一日一日を大切にしてください。」

【女子ハンドボール部 3年・佐々木美優（加茂中）】

スポーツを愛する生徒にとっての最高の舞台、高校総体は終わりました。試合には負けても、自分に負けた富高生は一人もいません。部活動の目的は「**負けない心**」を培うこと。厳しい練習をとおして、皆さんは成長しました。さあ、次の舞台が待っているぞ！

そして、いよいよ球児の夏です。最後に、野球部から決意を述べていただきます！

<硬式野球部>

第62回春季東北地区高等学校野球宮城県大会 ベスト16

（春季県大会4年連続出場）

☆第97回全国高等学校野球選手権宮城大会は、7月7日（火）開幕です！

「甲子園目指して、一戦一戦全力で戦います！！
応援よろしくお祈いします！」

【硬式野球部 3年・宮東直也（高森中）】



これからも、富高生への応援をよろしくお祈いします！

文化部揭示板

演劇部単独公演

5月17日（日）演劇部単独公演（まほろばホール）

今年の演題は『姫と下僕と私』。卒業を間近に控えた女子高生3名が、祖母の家で発見した手紙の謎解きをする妄想コメディ(?)でした。妄想シーンでは、平安時代の貴族や大正口マンを彷彿とさせるハイカラさんが登場し、妄想を通じて3名それぞれが互いを再発見しゆく過程が、巧みに演じられていました。昨年度、県大会優良賞の実力を遺憾なく発揮した好演でした。7名の3年生、お疲れさまでした。ところで手紙の「謎」ですが、私は解けましたよ。たぶん…。



吹奏楽部定期演奏会

5月24日（日）第20回定期演奏会

（日立システムズホール仙台）

開校以来、毎年開催してきた定演がついに20回を迎えました。OBOGも参加してのメモリアルな演奏会でした。

第1部は、昨年度県大会「金賞」受賞の実力を感じさせる質の高い演奏でした。34名ものOBOGが加わった後半の音の響きは圧巻でした。

第2部はマーチングステージ。華やかな「世界旅行」を楽しませてくれました。衣装は美しく、演出も凝ってました。生徒はキラキラと輝いていました。

第3部はなじみ深い曲が次々と登場。校歌の「ジャズバージョン」も披露していただきました。最後は、会場と一体となつてのエンディング。500名を超える来場者の心をつかんだ感動の演奏会でした。



ダンス部校内発表会

5月27日（水）昼休み（集いの広場）

3年生の引退セレモニーを兼ねた校内発表会が、今年も盛大に行われました。多くのギャラリーの大歓声にかこまれて、完成度の高いダンスを披露してくれました。今年の全国大会も期待できます！



生徒の活躍は、富谷高校ホームページでもご覧ください。毎週更新中。